

第1号様式（第4条関係）

申請書の作成日を

令和〇〇年〇〇月〇〇日

特定非営利活動法人鈴鹿市体育協会長 様

(申請者)

組織（競技団体）の名称と
代表者名を記入

競技団体名 鈴鹿市〇〇〇〇協会

代表者名 会長 〇〇 〇〇

シニア事業交付金交付申請書

申請年度

〇〇年度鈴鹿市体育協会シニア事業交付金の交付を希望しますので、鈴鹿市体育協会シニア事業実施要綱第4条の規定により、下記の関係資料を添えて申請します。

記

- 1 シニア事業計画書（第2号様式）
- 2 シニア事業収支予算書（第3号様式）
- 3 当該年度の競技団体の総会資料（収支予算書、事業計画書、又は収支予算書（案）、事業計画書（案））

事業計画の内容を

シニア事業計画書

事業名	楽シニア〇〇競技教室 とか シニア〇〇〇競技交流大会		
開催期日と回数	6月～10月 毎月第1・第3木曜日 計10回		
会場	鈴鹿市立体育館 〇〇グラウンド など		
内容	大会・競技会・実技教室・講習会・講演会・その他（		
参加対象	〇〇歳以上 男子 女子 男女	参加予定人数	30人（延 300人）
<p>（事業の目的と成果目標）</p> <p>どのようなことを目的として行うのか</p> <p>例えば、・初心者が試合できるまでにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつまでも歩けるように、足腰の筋力を維持する。 ・〇〇競技を楽しむ高齢者を増やす。 とか <p>目的に向かって、どのような状況、状態にまでなることを目指すのか</p> <p>例えば、・レベルは違っても、参加者全員が試合の楽しさを感じられるようになる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20分間は、競技が続けられるようになる。 ・競技を楽しんでいる人が、〇〇人以上見受けられるようになる。 			
<p>（具体的な事業の内容と期待される効果）</p> <p>どのような段階を踏んで、どのようなことをやるのか</p> <p>例えば、10回を3段階ほどに分けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、本人の目標設定から、競技ルール、準備運動、用具等の扱い方 ・基礎、基本動作の反復 ・試合形式の練習 など <p>あるいは、大会であれば、開催要領の作成 とか</p> <p>事業を進めることによって、参加者、競技団体に影響や充実感、満足感がえられるか</p> <p>例えば、・段階ごとの内容をクリアしていくことにより、次への挑戦、意欲がわいてくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に、歩くことが苦にならなくなる。 ・回を追うごとに、参加者同士の交流が盛んになる。 ・〇〇競技団体への加入者が増える。 			

定員

定員×回数

該当する項目を○で囲んで。いくつでも

あまり、硬く考えないでください。競技団体が思われていることを、そのまま書いてください。

第3号様式（第4条関係）

シニア事業収支予算書

事業名	楽しいシニア〇〇競技教室 とか シニア〇〇〇競技交流大会
-----	------------------------------

支出で計算した交付金額と合っていますか

(収入) (単位：円)

科目	金額	内 容
体育協会交付金	20,000	
競技団体事業費	23,500	
参加者負担金	15,000	500円×30人
その他	0	
事業費計	58,600	

収入、支出の合計額は合っていますか

(支出) (単位：円)

科目	事業に要する経費	左記のうち		内 容
		事業に要する経費	体育協会交付金	
交付対象費	諸謝金	10,000	10,000	講師謝礼 2,000円×5回
	会場使用料	25,000	5,000	体育館使用料
	消耗品費	6,000	5,000	
	通信運搬費	2,000	0	資料郵送代
	印刷製本費	2,000	0	資料印刷代
〇〇〇費				
小計	(A) 45,000	(30,000) 20,000		
交付対象外経費	会議食糧費	3,500		コー
	交通費	10,000		役員車代
	小計	13,500		
事業費計	58,500			

他に該当費用があれば

合計額と小計欄の額が合っていますか

(A) 欄の合計額に3分の2を掛けた額。
2万円が限度額なので、
・2万円を超えた場合は、
交付金額は2万円に
・2万円以下の場合、
その額が交付金額になります。

※ 内容等が書ききれないときは、別紙（任意様式）を追加してください。

令和 年 月 日

様

特定非営利活動法人鈴鹿市体育協会
会長 熊 沢 逸 雄

シニア事業交付金決定通知書

令和 年 月 日付けで交付申請のあったシニア事業の交付金の交付及び交付額を決定しましたので、鈴鹿市体育協会シニア事業実施要綱第6条の規定により通知します。

記

- | | | | | | |
|-------------|----|---|---|---|---|
| 1 交付金交付額 | | | | | 円 |
| 2 交付（振込）予定日 | 令和 | 年 | 月 | 日 | |

第5号様式（第7条関係）

申請書の作成日を

令和〇〇年〇〇月〇〇日

特定非営利活動法人鈴鹿市体育協会長 様

組織（競技団体）の名称と代表者名を記入

（報告者）

競技団体名 鈴鹿市〇〇〇〇協会

代表者名 会長 〇〇 〇〇

決定通知書の日付

シニア事業実施報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日に交付金の交付を受けたシニア事業を実施しましたので、鈴鹿市体育協会シニア事業実施要綱第7条の規定により、下記の関係資料を添えて報告します。

記

- 1 シニア事業実施書（第6号様式）
- 2 シニア事業収支決算書（第7号様式）
- 3 シニア事業参加者名簿（第8号様式）

シニア事業実施書

事業名	楽しいシニア〇〇競技教室 とか シニア〇〇〇競技交流大会		
開催期日と回数	6月～10月 毎月第3木曜日 計10回		
会場	鈴鹿市立体育館 〇〇グラウンド など		
内容	大会・競技会・実技教室・講習会・講演会・その他 (実際の定員を)		
参加対象	〇〇歳以上 男子 女子 男女	参加人数	30人 (延 300 人)
<p>(実施した事業の具体的な内容)</p> <p>計画に沿って、あるいは、一部計画を変更したとして、どのような内容の事業を実施したのかを書いてく。 実際の延参加者数を</p> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; color: red;"> <p>毎回の内容ではなくて結構です。ある程度まとめた内容で、どれくらいの期間、回数をやったのかななどを。大会等であれば、どのような内容の大会であったかななどを。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 40%; color: red;"> <p>事業計画書にどのように書いてあるのか見て、記入を。</p> </div>			
<p>(事業計画書に掲げた目的、成果目標と事業実施後の成果、達成度)</p> <p>計画書に掲げた内容との比較を書いてください。</p> <p>目的は、参加者全員が試合ができるまで、成果目標はみんなが楽しんで試合ができるようになる、としたが、最後には、レベルごとに分けてではあるが、全員が試合をできるまでになり、目的はほぼ達成した。また、全員が試合形式でのゲームができるようになり、勝つ喜び、負けてがんばろうと気持ちを持った、と答えており、〇〇競技、スポーツの楽しさを感じ、続けていきたいと思えてもらい、団体の目標も大きく達成できた。</p> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; color: red;"> <p>計画の内容と実施後の状況、状態の比較をし、目的や成果目標がどの程度達成できたかを書いてください。</p> </div>			

第7号様式（第7条関係）

シニア事業収支決算書

事業名	楽しいシニア〇〇競技教室 とか シニア〇〇〇競技交流大会
-----	------------------------------

(収入)

交付金の小計額と合
っていますか

(単位：円)

科目	金額	内 容
体育協会交付金	20,000	
競技団体事業費	25,400	
参加者負担金	14,500	500円×29人
その他	0	
事業費計	59,900	

(支出)

(単位：円)

科目	事業に要した 経費	左記のうち 体育協会交付金	内
交付 対象 経 費	諸謝金	8,000	講師謝礼 2,000
	会場使用料	26,540	5,000
	消耗品費	5,200	
	通信運搬費	1,500	0
	印刷製本費	1,800	1,800
	小計	45,050	20,000
交付 対象 外 経 費	会議食糧費	3,850	コーヒー代 350円×11
	交通費	11,000	役員交通費 1,000円×11人
	小計	14,850	
事業費計	59,900		

交付金内訳の合計は2万円
になっていますか。
どれか一つの費用で2万
円となっていれば、他の費
用には交付金はできません。

対象経費の小計の3分の2
以内ですか。
2万円を超える場合は、2
万円となっていますか。

※ 内容等が書ききれないときは、別紙（任意様式）を追加してください。

※ 支出に伴う領収書等は、提出を求める場合がありますので、大切に保管しておいてください。

第8号様式（第7条関係）

シニア事業参加者名簿

（講師）

No	氏名	住所	所属団体	資格等
1	〇〇 〇〇	津市△△町×××番地	県□□協会コーチ	□□協会A級指導員

資格を持っていれば

（参加者）

No	氏名	性別	年齢	No	氏名	性別	年齢
1	〇〇 〇〇	男	64歳				
2	△△ △△△	女	61歳				
3							
4							

※ 記載欄が不足の場合は、コピーなどで追加してください。類似の出席名簿でも提出可です。

第9号様式（第8条関係）

清算書の作成日を

令和〇〇年〇〇月〇〇日

特定非営利活動法人鈴鹿市体育協会長 様

組織（競技団体）の名称と
代表者名を記入

（報告者）

競技団体名 鈴鹿市〇〇〇〇協会

代表者名 会長 〇〇 〇〇

決定通知
書の日付

シニア事業交付金清算書

令和〇〇年〇〇月〇〇日付で交付を受けたシニア事業交付金について、鈴鹿市体育協会シニア事業実施要綱第8条の規定により、下記のとおり清算します。

記

1 予算額による交付金の交付額	〇〇〇, 〇〇〇	円
2 決算額による交付金の交付額	△△△, △△△	円
3 返還額	□, □□□	円

交付金額に、減額変更がなければ必要
ありません。